

県南支部だより

2019年5月20日発行

発行責任者 原田 仁稔

文責 渡部さゆり

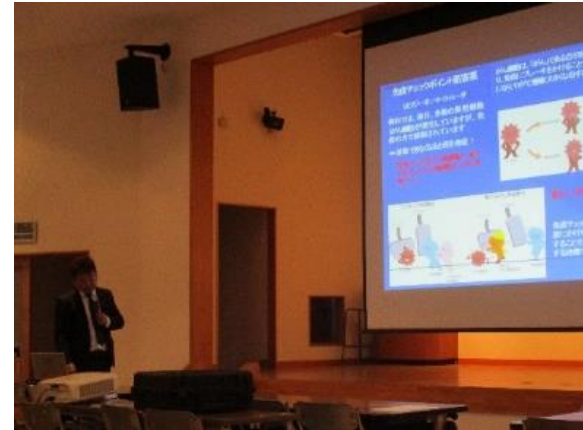
定期総会ならびに特別講演会

4月20日(土)14:30より郡山市労働福祉会館にて、70名(委任状215名)の参加のもと、平成31年度県南支部定期総会ならびに特別講演会が開催されました。

はじめに原田支部長からの挨拶で、6月1日~2日に行われる福島医学検査学会は「令和」になって初めての学会であり、また県南支部担当として大いに盛り上げましょうと話がありました。続いて福島県臨床検査技師会の柴田副会長から、来年の6月に福臨技主催の日本医学検査学会が仙台市で開催されるため、多くの一般演題の登録を期待しますとご挨拶をいただきました。

また今回は、昨年度の総会で承認された「支部活動功労賞」の表彰が執り行われました。これは、県南支部独自の規定であり、県南支部の職務に従事し顕著な功績があった支部会員を表彰するものです。初めての受賞者は、太田熱海病院の小竹美佐江技師です。おめでとうございます。

総会では議長に公立岩瀬病院の畑中公基技師が選出され、議事は滞りなく審議され全て承認されました。



特別講演会は「肺癌診療における疫学と診断～当院における院内がん登録成績～」と題して、県南支部長でもある原田仁稔先生からご講演をいただきました。

従来の抗癌剤治療が癌細胞のみならず正常細胞まで攻撃してしまうためダメージが大きかったのに対して、近年の分子標的薬は癌の増殖を引き起こす細胞内の分子を狙い撃ちするため副作用が少ないといわれています。分子標的薬の効果が期待できるかどうか、また患者さんの全身状態なども含め、適切な治療に繋げるためには正確な検査結果が必要不可欠であると話されました。

懇親会



「庄屋」で懇親会となりました。新人も加わり、総勢48名で大いに盛り上がりましたよ～。



【編集後記】

皆様、気持ちを新たに「令和」を迎えられたことと思いますが、日々の忙しさに身を委ねていると、あっという間に1年が終わってしまいます…。“令和元年、なかなか良い1年だったぞ～”と思えるように、一日一日を丁寧に大事に過ごしていきたいですね。

今年度も県南支部の活動に対しまして、皆様のご協力の程よろしくお願いいたします。



福島県臨床検査技師会 県南支部
原田 支部長



福島県臨床検査技師会
柴田 副会長



「支部活動功労賞」を受賞された 太田熱海病院 小竹美佐江技師

